

何を使う

機器 タブレット

ソフトウェア（アプリ）

「食育の授業 一朝ごはん編― 栄養バランスが学べる授業アプリ」

「食育の授業 一おやつ編― おやつの適量が学べる授業アプリ」



それをどう使う（それで何ができる）

- ・自分で選んだ料理やおやつ栄養バランス及び適量を確認することができる。
- ・複数の組合せを比較しながら確かめることができる。
- ・「朝ごはん編」では、選んだ料理を3つのグループに分けて表示し、栄養バランスを確認できる。
- ・「おやつ編」では、カロリー、砂糖の量、油の量を、瞬時に確かめることができる。

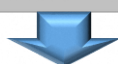


ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

小学校 家庭科「こんだてを工夫して」

【 Before 】

- 栄養のバランスがよくなるよう主食、主菜、副菜などの組合せを考え、1食分の献立を工夫する。



【 After 】 メリット

- 1食分の献立について考える場面において、アプリを使って即時的に栄養のバランスを確認することで、改善を加えながら主体的に献立を工夫することができる。
- 繰り返し操作することで、1食分の献立だけではなく、複数の献立についても考えることができることから、日常生活の中で、自分の食生活に生かしていこうとする実践的な態度を効果的に身に付けることができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一	個	協
		○		提示なら大型提示装置			斉	別	働
	提示なら1台、グループ及び個人学習なら1人1台						○	○	○
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続		1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		家庭科、学級活動		
	○	○		△	活用が想定される場面		児童演習、全体発表		